



昆布森小学校の教育

本校では、地域に根ざした教育を目指すとともに、へき地複式の強みを生かす「6年間の子どもの育ちを見通した教育の実践」に取り組んで参ります。



<経営の理念>

『児童一人一人が、ひろい心を持ち、手を取りあって、正しく強くすくすくと育つ昆布森小学校の創造』

学校 「豊かな心とたくましく生きる力を育む教育の創造」

<昆布森・知方学地区(CS)の目指す子ども像>

- ふるさとを愛し 自ら学び 心豊かに 未来へ向かって たくましく生きる子ども
- 進んで学ぶ人～確かな学力～
- 感謝と思いやりの心をもつ人～豊かな人間性～
- 健やかな心と体をもつ人～最後までやりぬく意志と体～
- 地域・社会に貢献する人～地域を愛する心と態度～

<目指す子ども像(教育目標)>

- 体をきたえる元気な子
- よく考え進んで学習する子
- 明るく思いやりのある子
- ◎力いっぱい最後までやりぬく子 (◎は令和5年度の重点項目)

<目指す学校像> ◇「感動」を大切にできる学校 ◇「学ぶ喜び」を大切にできる学校 ◇「温もり」を大切にできる学校

- ～子どもにとって～ 子ども達が、すべての先生に見守られ、自己実現ができる学校
- ～教職員にとって～ 教職員が、同僚性を高め、誇りを持って自分の役割が果たせる学校
- ～保護者にとって～ 保護者が、安心して子どもをあずけられる学校
- ～地域にとって～ 地域が、惜しみなく応援することができる学校

<学校の内側に目を向けた取組(教師の指導力の向上)>

～悩みと失敗の共有、学び合う関係～

- ⇒気持ちと考え方をオープンにすることで安心感を持ち、思いや気持ちをそらえる。
- 日常的なスキルアップ(授業の公開、指導方法の相談、同僚間の提案や助言)
- 学級間・分掌間の連携(教育の専門家としての教師の創造性と研鑽)

<学校の外側に目を向けた取組(教育活動の質の向上)>

～教育目標(子ども像)と教育課程の共有～

- ⇒保護者や地域社会に、よりよい学校づくりのための応援団になってもらう。
- 保護者や地域住民と教職員との相互の信頼
- 学校経営の提示と学校評価の活用、学校と保護者・地域をつなぐ活動

家庭の役割

- ①休息・安らぎの場(児童の心身の健康を育む)
- ②基本的生活習慣の基盤づくり(早寝・早起・朝ご飯・朝ウンチ)
- ③善悪の判断能力の育成(約束・我慢する心・感謝の心)
- ④多様な生活経験を与える場(掃除・茶碗洗い・米とぎ)
- ⑤家庭学習の習慣化

人として生き抜くために必要な土台や基盤の構築。

【人間力の育成】

夢を実現するために必要な専門的な知識や技術の習得。

【資質能力の育成】

地域の役割

- ①児童が安心して活動できる安全な地域づくりの推進
- ②児童の育ちの見守り
 - ・危険な行動(叱る・連絡)
 - ・好ましい行動(ほめる)
- ③多様な社会体験の場の提供(児童が参加できる地域行事)

学校の役割

令和5年度スローガン 『みんな 学校・家庭・地域で育てる 興味とねばり 豊かな心』

1. 確かな学力を育む ⇒ ①複式授業の型の定着と自ら学ぶ力の育成 ②学習規律の定着 ③宿題、家庭学習の取組 ④学校改善プランに基づく授業改善 ⑤補充学習の取組 ⑥校内研修の充実 ⑦プログラミング教育の取組
2. 健やかな体の育成 ⇒ ①体力向上プラン改善策の確実な実践 ②年間を通じた体力づくり ③保健指導の充実 ④食に関する指導の充実 ⑤安全教育の充実 ⑥「早寝・早起き・朝ご飯・朝ウンチ」と「歯磨きの」の実践向上啓発活動 ⑦電子メディアとの関わり方
3. 人間関係力の育成 ⇒ ①気持ちのよい挨拶・返事・時と場にふさわしい言葉遣いの習慣化 ②言葉を大切にされた会話力の育成 ③校内外の人と積極的にかかわる学びや活動 ④地域行事への積極的な参加
4. 豊かな心の育成 ⇒ ①道徳科授業の質的向上 ②特色ある教育活動 ③学校行事における感動体験の共有 ④児童の考えを生かす児童会活動 ⑤読書に親しむ機会の増設 ⑥学校いじめ基本方針に係る活動の充実 ⑦人権教育の継続
5. 家庭・地域との連携 ⇒ ①参観日の充実 ②地域人材や外部関係機関を活用した授業の実施 ③安全・安心な学校づくり ④防災教育の充実 ⑤積極的な情報発信 ⑥「昆小スタンダード」の推進 ⑦関係機関との体力づくり